

経済安全保障重要技術育成プログラムに係る  
プログラム会議（第5回）

再掲

# 新たな研究開発ビジョンの策定に向けた検討プロセスの 方向性について（事務局案）

令和5年4月26日

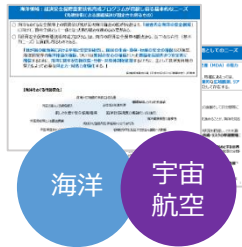
# 新たな研究開発ビジョン※1の策定に向けた検討プロセスの方向性について（事務局案）

## 【あるべき基本的な方向性（中長期的視点）】

- 科学技術の多義性を踏まえつつ、経済安全保障の基盤となる科学技術力を強化する観点から、我が国として「育てる」必要がある技術とは何か、育てた技術を社会実装に向けて「生かす」必要がある技術とは何かを見極める必要がある。
- いかなる脅威があるのか、あるいは脅威に対応できる技術を「知る」ためには、我が国の科学技術ポテンシャルをエビデンスベースで俯瞰した上で検討する必要があるのではないかと。同時に、経済安全保障の観点から、我が国にとって先端的な重要技術をスクリーニングする必要があるのではないかと。（但し、技術面からの俯瞰は極めて難しい課題であり、例えば今後、安全・安心に関するシンクタンクの中核的な活動として位置づけ、発展させることなども念頭に置く）

## 研究開発ビジョン（第一次）※2における検討

- 政府方針（海洋基本計画、宇宙基本計画等）に基づき、外部有識者委員の意見も踏まえ、技術面でのニーズや課題から技術について議論。



- 分野別戦略を策定し、取組を進めているものの、国民の安全・安心の確保といった観点からの国としてのニーズが網羅的に整理されているとは必ずしも言えない状況。経済安全保障の観点から改めてニーズや課題を同定しつつ、更なる検討を進めていく必要がある領域、と認識。

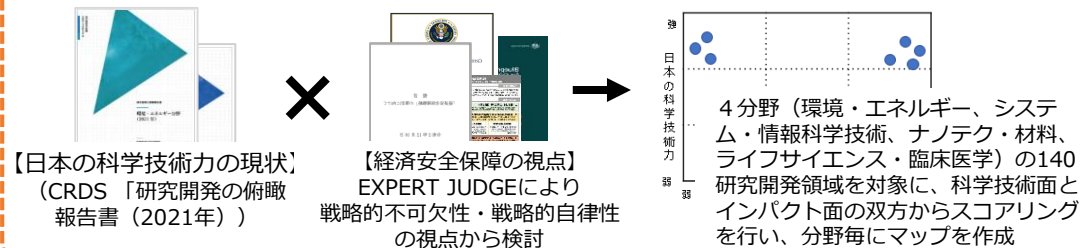


## 新たな研究開発ビジョンの策定に向けた当面の検討プロセス（短期的視点）

- 引き続き、政策方針を踏まえた検討プロセスを踏襲し、研究開発ビジョン（第一次）で示した技術に加え、支援対象とすべき技術を検討。

- 現時点では不完全ながら、我が国の科学技術ポテンシャルを技術面から俯瞰する仕組みを試行的に導入する必要があるのではないかと。
- 技術シーズ・ニーズの出現や目まぐるしく変化する国際情勢などを考慮し、新たな視点を盛り込んでいく必要があるのではないかと。（例えば、喫緊の課題である、サイバーセキュリティ、エネルギー安全保障や食料安全保障の観点を盛り込むことなど）

→ 試行的な技術俯瞰分析を参考に、経済安全保障の観点から我が国として必要と考えられる支援対象技術を検討・選定していく



※1 新たな研究開発ビジョンは、第一次とは独立させたものとして整理（新たなファクトや支援対象技術等を追補的に示す）するとともに、支援対象技術の一貫性を確保したパートを設ける形を検討中。

※2 令和4年9月16日、有識者等の議論を経て支援すべき技術等を整理した研究開発ビジョン（第一次）を決定。